

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年12月1日(18:20～20:20)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	平井・高橋・溜池・奥田・大木・北村・田上・田中・石河

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	0人	1人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 初めて援助する利用者には2名体制で訪問・送迎して実践し引き継ぎ、利用者、家族、職員の不安解消を図るとともに職員全員が同じ対応ができるよう努める 利用者の生活を支えることを目的とし、初期の関わりを担うケアマネからの情報を書面で収集し、実践的な情報についても意識して習得、理解する
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 初めて援助する利用者には2名体制で対応することが出来たが、引き継ぎに不十分な点があった 得た情報について理解しないまま実践しており、応用することが出来なかった 予期せぬ事態に遭遇した時は、必ず上司に相談し対応した

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	5	1	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	9	0	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	6	1	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	7	2	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 時間はかかるが、2名体制で引き継ぎ、確実な援助が出来ている 本人・家族・介護者が必要としている支援を聞き出し、満足して頂けるサービスを提供できるよう働きかけている 新規利用者に対しては、意識して声を掛けるようにし、過ごしやすい雰囲気を作るようにしている 新規利用者は利用開始前にアセスメントシートを読み、ケアマネジャーから援助にあたっての注意点を聞き、対応している 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 同時刻の送迎や訪問の援助が多く、2名体制での引き継ぎが難しく、全職員が援助内容などを把握するまでに時間がかかっている 利用者や家族と関わる機会が少なく、関係性を築くことができていない 家族との関係づくりや不安に思われている事に対してはケアマネジャー任せになってしまっている ミーティング等で情報共有しているが、情報やニーズを十分把握するところまで出来ていない 職員の判断や理解力が異なる為、同じ対応ができていないところがある 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> アセスメントシート、プラン、担当者会議録を確実に読込み、利用目的・援助の方法について理解する ケアマネジャーを中心とした初期支援から、少しでも早く全職員の支援へと移行できるよう、職員の意識は元より、体制作りを強化する 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月1日 (18:20 ~20:20)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 平井・高橋・溜池・奥田・大木・北村・田上・田中・石河

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	1人	1人	9人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・事業所計画作成については、目標設定のプロセスを確立し、各担当者が利用者のしたいことや思いを反映させた目標を設定する・毎月の処遇会議にて、目標の再確認、達成状況を評価し、目標達成に向けての適切な援助が実施できるようにする
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・利用者のしたい事や思いに重点をおいた目標設定ができていなかった・毎月の処遇会議で目標の再認識ができ、達成状況の報告もできている・生活面ではあるが、設定した目標に向けて適切な援助が出来るよう処遇会議等で意見を出し合えた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	5	4	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	2	7	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	5	0	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	6	3	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・毎月の処遇会議にて、目標の再確認、達成状況の評価、達成に向けての援助ができている・関わって良かったこと、気になることなどを処遇会議で報告、次の対応などを相談できている・複数人で考えることにより、目標が明確となり、わかりやすくなった

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・新規利用者、更新時等の見直しがタイムリーにできていない・新規利用者については、担当職員が利用者を知り、目標設定をできるだけの開わりを持つシステムになっていない・目標が具体的に「～したい」を表現されていないので、難しく感じる・在宅生活を続けられるよう援助することが一番になり、「～したい」の実現 (自己実現の尊重) に対してはできていない

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・ケアマネジャーと担当職員が中心となって開わりを持つことで、利用者の思いを聞き、「～したい」について理解し、目標設定をする・毎月の処遇会議にて、目標の再確認、達成状況を評価し、目標達成に向けての適切な援助が実施できるようにする

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月1日(18:20~20:20)

3. 日常生活の支援

メンバー 平井・高橋・溜池・奥田・大木・北村・田上・田中・石河

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	0人	1人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に関わる機会を多く持ち、何気ない会話の中からも気づきを得られるよう意識して関わる ・利用者を取り巻く環境を把握し、議題が生じた際には、ケアマネを中心に、利用者、家族の意向を確認しつつ、よりよい方向に向かうよう提案や助言を行う
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・通い利用中に気分の変化がみられる利用者の対応は申し送りが出ていたので安心して関わる事ができた ・利用者を取り巻く環境も把握するよう努めた。議題が生じた時にはケアマネや上司に報告することでより良い方向に向かう事ができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	7	1	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	7	1	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	5	3	1	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	7	0	1	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	6	3	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者との会話を大切にし、気になる話題や表情を感じた時はより深く聴くようにしている ・利用者の体調や気持ちの変化に寄り添い、気付いたことを共有でき、その時々合った対応ができている ・利用者に関わる機会を多く持つように意識し、何気ない会話の中からも気づきを得ることができている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職員が自宅に入らない利用者もおられ、生活環境など把握することも難しい ・『以前の暮らし方』について上手に聴くことができていない ・職員の発言力、気付き方に差がある。疑問を持ち、提案することができないこともあるが、個々の意識付けだけでなく、職員間でのフォロー、確認の声掛けも必要だと思う 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に関わる機会を多く持ち、気持ちや体調の変化に留意し、得た情報を職員間で共有する ・現在の身体状況、認知機能を把握し、現状に合った援助内容の検討を行う ・サービス担当者会議を可能な限り自宅で行い、担当職員を中心に、利用者を取り巻く利用者の生活環境を把握する 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年12月1日(18:20～20:20)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	平井・高橋・溜池・奥田・大木・北村・田上・田中・石河

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	5人	2人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・家族参加を基本とした担当者会議が実施できるよう、ケアマネを中心に働きかける ・地域との関係を維持することを目的とした支援ができるよう、事業所として援助できることを考えていく
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所として、地域との関係を維持しながら支援することは、難しかった ・一部ではあったが、利用者宅でご家族参加のサービス担当者会議に出席でき、これまでに知り得なかった生活環境や情報を知ることができ、とてもよかった ・運営推進会議や認知症カフェなどが再開でき、地域と関わることができ、よかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	5	3	1	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	6	2	1	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	2	6	1	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	5	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の送迎時などに地域の方と出会った時はコミュニケーションがとりづらい方も援助している ・利用者とは話をする機会が作れており、情報収集できている ・運営推進会議や地域への取り組みが、感染対策をした上で少しずつ復活できている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源を把握できていない ・コロナ禍だったり、家族が居られる中で、地域との関係を切れないう職員が動くことは難しいと感じる ・家族が多忙な事もあり、日程調整がつかないケースもあって、家族参加での担当者会議がほとんどできていない ・利用者の担当の民生委員や地域資源は事業所としては把握できているが、職員全員ができているとはいえない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員が利用者を取り巻く地域資源を把握し、利用者が地域活動に参加し地域とのつながりを継続できるよう支援していく ・コロナ禍による近隣地域の状況を確認しながら、各地域の取組み等の情報収集に心掛け、地域に出て行けるよう支援する 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月1日(18:20～20:20)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 平井・高橋・溜池・奥田・大木・北村・田上・田中・石河

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	4人	4人	1人	9人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">関係相関図の作成に取り組み、利用者、家族、地域との関わりも含め、サービス利用だけではなく、地域資源も上手に活用できるようにする利用者の日々の状態や取り巻く環境を把握し、必要な情報・サービス利用の提案を継続し、柔軟なサービス提供に努める
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">関係相関図の作成に取り組めていない利用者の日々の状態や環境の把握ができ、柔軟なサービスができている利用者の求めている情報やサービス利用の提案ができている時と、足りない時があった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	5	3	1	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	7	0	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	5	1	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	7	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">ニーズに応じて「通い」「訪問」「泊り」が提供されていると思う利用者の変化に気づき、状態に応じてサービス内容を代えるなど柔軟な支援ができている利用者の状況に対して柔軟なサービスが提供できるよう、常に事業所内で相談している

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">日々の関わりで感じたことはその都度共有するようにしているが、利用者の状態の「変化」に気づくほど観察がしっかりできていない事業所として出来る支援にしか意識が向いておらず、それ以外のニーズも理解できていないため、地域資源を使う支援ができていない利用者の把握ができておらず、関係相関図の作成の仕方もわからないため取り組むことができなかった

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">利用者の日々の状態やご家族様の様子を把握し、ケアマネジャーや担当職員を中心として、サービス利用の提案をし、柔軟なサービス提供に努める関係相関図の作成に取り組み、その中で活かせる地域資源を把握し、活用できるようにする

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月1日(18:20～20:20)

6. 連携・協働

メンバー 平井・高橋・溜池・奥田・大木・北村・田上・田中・石河

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	3人	1人	9人

前回の改善計画
・感染予防対策をして、出来ることを提案し、地域の行事が再開された場合には、状況に応じ、参加し、交流の機会を確保する ・リモート会議等にて、他サービス機関等と連携を図る
前回の改善計画に対する取組み結果
・地域の行事として、三重地区のびのび体操、五十河地区サロン、明田地区清掃活動等に参加することができた ・リモート会議だけでなく、開催される会議には参加し、他サービス機関等と連携が図れた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	4	2	2	1	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	5	1	2	1	9
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	4	2	2	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	0	2	6	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・感染対策を行い、少しずつ活動範囲を広げようと努めている ・地域の活動には出来る限り参加し地域の方々と交流を図った ・地域の清掃活動への参加はできている ・必要な会議には対面やリモートで参加できた	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナ禍であり、利用者の外出やイベントが制限されているため、地域の方々との交流が図れなかった ・大学駅伝のコース変更により、今年から応援参加できなくなった ・コロナ禍によるものか、気軽に訪問してもらえるような雰囲気でないのか、登録利用者以外の方や地域住民が事業所を訪れることは少なかった	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・感染状況をみながら、ご利用者、職員が地域に出られるよう、地域や外部との関わりについて検討していく ・自治体や地域包括支援センター、関連事業所、他サービス機関等との会議に参加し、情報交換及び連携を図る	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月1日(18:20～20:20)

7. 運営

メンバー 平井・高橋・溜池・奥田・大木・北村・田上・田中・石河

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	4人	0人	1人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 全職員を対象とした3か月毎の評価を実施し、事業所計画を意識付けするため、処遇会議で報告、事業所のあり方について意見を募る 地域福祉部日より、Facebook等を活用し、事業所の活動を知ってもらう働きかけをする
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 3ヶ月毎の評価は実施できたが、処遇会議で話し合うなど、事業所計画を意識づけるところまではいかなかった 4月より、運営推進会議を再開することができた Facebookを活用して、全ての行事を載せることができ、事業所を知ってもらう働きかけとなった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	4	2	1	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	6	0	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	0	0	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	0	6	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> Facebookに活動や行事を載せることで、新規利用者家族から「あけだの家の様子がよくわかります。とてもいい雰囲気ですね」と言ってもらえることがあった 今年度より運営推進会議を再開し、2ヶ月毎に実施できている 小さなことでもうやむやにせず、苦情として取り上げ、検討している 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 苦情が本当に無いのか、苦情を言ってもらえないのか、苦情と受け取ることができていないのかわからないが、苦情が少なかった コロナ流行の後でもあり、取り組み等を行う機会を失っており、積極的に地域と協働した取り組みができなかった 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 「事業所計画」に対して、3ヶ月毎に評価を実施、会議等で話し合うことで、全職員が意識を持って「事業所のあり方」について考える 些細な事でも苦情として取り上げ、「苦情は宝」とプラスに捉え改善に繋がるようしっかり検討出来る事業所となります 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月1日(18:20～20:20)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 平井・高橋・溜池・奥田・大木・北村・田上・田中・石河

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	1人	1人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">雇用形態や職種に関わらず、スキルアップに対する意欲を持ち、研修参加を促していく利用者により事故リスクの内容が異なることを理解し、再発防止に努める
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">苑内研修だけの参加が多かったが、苑外研修に参加する職員もあり、昨年度より意欲がみられたひやりハットや事故報告書などの記載により、処遇会議等で職員全員に再度周知されるが同じミスがあったりした利用者にリスクを感じた時には情報共有し、事故にならないよう声を掛けあうことができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	5	3	0	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	4	1	9
③	地域連絡会に参加していますか	0	4	2	3	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	8	1	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">一部職員は資格取得やスキルアップのための研修に積極的参加したリモートでの苑内研修には参加し、スキルアップにつながっている利用者の状態によっては事故のリスクが異なることを理解し、再発防止に努めるようにできている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">学習意欲の低下、現状で満足していることもあり、苑内研修以外は正規職員のみ参加となっているひやりハットや事故報告書を会議等で共有しているが、同じミスが繰り返され予防できていない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">個々がスキルアップに対する意欲を持てる職場作り、環境を整え、全職員に研修参加を促していく事業所全体がレベルアップするよう事業所内での研修を実施する苦情や事故報告、ひやり・ハットとして挙げた事案に対し、職員全員で共有し、今後の改善策を検討し周知徹底する	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5月12月1日(18:20～20:20)

9. 人権・プライバシー

メンバー 平井・高橋・溜池・奥田・大木・北村・田上・田中・石河

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	1人	1人	9人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">どの利用者に対しても適度な距離感を保ち適切な言葉で援助を行う事を意識する個人情報の保護についての正しい理解や、個人情報取り扱いについて、事業所内で勉強する機会を持ち、全職員で同じ意識がもてるよう努める
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">利用者に対しての言葉遣いが雑になったり、思いを共感しての声掛けができていなかった同じ訴えをくり返す利用者に対して否定的な言葉を使ったりすることがあった他職員の言葉遣いも気になる事があったが、注意することはできなかった個人情報の取り扱いについて意識はしているが、事業所内で勉強することができていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	4	5	0	0	9
②	虐待は行われていない	6	3	0	0	9
③	プライバシーが守られている	3	5	1	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	7	0	0	9
⑤	適正な個人情報の管理ができています	3	6	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">個人情報の保護について、常に意識しながら業務にあたっている適正な情報管理はできていると思う	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">会議で優先的にしなくてはならない事項が多いため時間がなく、事業所内での勉強会ができていない個人情報についてのトラブルもなく、個人情報取り扱いについて勉強する機会を作れなかった私情を交えたり個人的な判断は避けなければならないが、虐待とまでいかななくても不適切な声掛けを耳にすることがある	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">どの利用者に対しても適度な距離感を保ち、適切な言葉で援助を行う事を意識する事業所内で注意し合える職場作りを目指す義務化となる「高齢者虐待防止の推進」について理解し、利用者の人権を守った対応ができるよう事業所間で周知する	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 丹後大宮福祉会	代表者	石河良一郎	法人・ 事業所 の特徴	家庭的な雰囲気を大切にしながら、住み慣れた地域での生活が継続できるように、一人一人の意向や、想いに寄り添い、日々の関わりを大切にしています。又、地区の行事に積極的に参加し、身近な事業所として、困った時は、気軽に相談に来て頂ける「ご近所さん」を目指しています。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護事業 おおみや苑あけだの家	管理者	平井真弓		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	7人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価の取り組みについて、運営推進会議にて、中間報告を行っていく 今後もあけだの家の活動を知ってもらえるよう、会議の場・たよりを発行・ブログにアップする事で情報を発信していく 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価については、毎年実施している 前年度からの改善計画について、全職員（フルタイム・短時間パート含む）が3ヶ月毎の評価を行ったことで、常に意識できることができた 会議の場・地域福祉部たよりの発行、また Facebook で行事や取り組みをアップし、情報を発信することができた。新規契約の利用者家族からも Facebook で情報を得たと言っていた 	<ul style="list-style-type: none"> 細かいことに取り組みられているのだなと感心しました コロナの蔓延により、ここ数年外部評価を受けることが出来ず、評価できない コロナ禍で外部評価が3年間することができなかったと聞き、どのように評価しているかわからない 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議にて行事以外の取り組み内容（研修・訓練等）も伝えていく 今後もあけだの家の活動を知ってもらえるよう、会議の場での報告、地域福祉部たよりを発行、Facebook にアップする事で情報を発信していく
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 今後も利用者さんと交流する場を持ちしつらえ・環境を確認してもらう 運営推進会議の曜日を変え、毎回利用者と交流してもらう。又しつらえ・環境も確認してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により、事業所内に入ってもらえることが出来ず、利用者さんとの交流の場が作れなかった 	<ul style="list-style-type: none"> あけだの家に入ったことがないので分からない 以前、だいぶ前だが入らせてもらい、良い所だなと思った カギをかけていないことを聞かせてもらって、知った 玄関までは入ったことがあるが、嫌な臭いや印象はなかった 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染状況を確認しながら、運営推進会議後に事業所の見学をしてもらい、環境等を見て頂く
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 今後も顔馴染みの関係作りや事業所を周知して頂く為にも、地域の行事・イベント等に積極的に参加していく あけだの家花壇作り・夏祭り・敬老会を継続すると共に、畑作り参加の声掛けを行い、収穫出来た物で、一緒におやつ作り等の行事を計画する 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により、利用者と共に地域の行事に出向くことはできなかった。職員だけは清掃活動に参加できた コロナ禍により、地域の方に来て頂ける夏祭り・敬老会が中止となった 畑作りに参加される利用者は少なかったが、見学したり、収穫出来た物の処理作業などをしていただいた コロナ禍により、利用者と一緒に調理をすることができなかったが、収穫した野菜を調理し季節の物を味わっていただいた 	<ul style="list-style-type: none"> 「認知症あんしんサポート相談窓口」の説明を聞いて、初めてそういうものがあることを知った 担当の利用者の様子について、話を聞かせてもらえるのがいい。あけだの家が関わっていると思うとそれだけで安心です 家族代表として色々な事が相談出来てありがたいです 昔は「あけだの家 夏祭り」に民生委員も参加し手伝ったりして楽しかった。今はコロナで開催されないのがさみしい 隣組の一員として清掃活動にも参加しているのにはびっくりした 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の職員が、地域の行事・イベントに参加する ご利用者と職員だけでは難しくなってきた畑作りを、地域の方にもお世話になれるよう働きかけをする

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域の行事に参加出来るよう支援していく ・地域で暮らしていく為には、地域の方の支えが必要である事をご利用者・ご家族に理解してもらおう ・課題があれば、地域の方々と交えた話し合いを行っていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個々のサービス担当者会議や運営推進会議はできているが、地域の方との話し合いの場には参加できていない ・常日頃からの挨拶や関係作りをしており、地域の方からこたつ布団を頂いた ・花をたくさん頂き、ご利用者さんに花束を作って持ち帰って頂き喜んでもらった ・地域の行事に参加できなかったが、季節に合わせたドライブに行き、事業所外にも出掛けることができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告を聞き、行事やイベントに参加している様子はどうかがえた ・「2.地域の方と交えた会議」とは、この運営推進会議も含まれると思う、職員さんもあまり細かいことを気にせず、もっと楽に考えてください ・四季に合わせたドライブをされていて、良いなと思った ・近所の方が助けを求めに来られたことを聞き、そういう時に頼りになる施設があるのはいいと思った ・ご利用者の生活を支える夫が入院された時に、事業所だけでサポートしようとしたが、地域の方のサポートが沢山あり、利用者を取り巻く「関係相関図」の作成が必要だと感じたことを報告。民生委員は災害時マップを作り、利用者を取り巻く環境を把握できている。あけだの家で「関係相関図」を作るのはとてもよい取り組みだと思うので期待したい。頑張ってください 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人を取り巻く環境、家族関係地域との関係など、本人の暮らしを知る ・「関係相関図」の作成に取り組む ・地域の方々の声を聞き、ご利用者が地域で暮らしていくためにも会議で積極的な意見交換をする
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を巻き込んだ事例があれば運営推進会議にて報告を行っていくと共に、各地域の情報を伝えてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議にて事業所の取り組み・地域からの情報交換はできている 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に来て、地区の担当の利用者のことはもちろん、他の高齢者の話も聞けてうれしい ・運営推進会議は情報収集の場となっていて、皆さんの話を聞けるのがいい 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの感染状況を見ながら、運営推進会議で地域の行事等の情報を共有し、参加できるように協力していく
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・火災訓練は継続していくと共に地震想定訓練マニュアルを事業所で周知していく ・地域の防災訓練に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の火災訓練(日中・夜間想定)を実施することができた。参加したご利用者からも意見をもらった ・BCP 訓練計画書を作成し、それを元に訓練を実施した ・地域の防災訓練に参加する事ができなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回消防訓練を実施しているのを聞いて、きちんとしていると思った ・民生委員は緊急・災害時のマップを持っていて、この高齢者がどこの施設を利用しているかなどを把握している。話に出た「関係相関図」もだが、緊急時のために情報共有をしてはいけないのだろうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練に参加する。 ・事業所の火災訓練を継続する ・BCP 訓練計画書に添った訓練を実施する